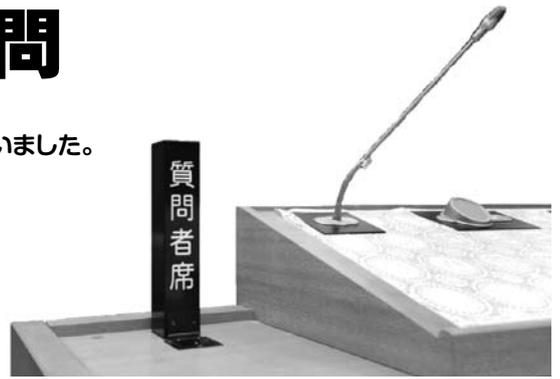


市政一般質問

3月定例会では16名の議員が質問を行いました。
主な内容をご紹介します。



防犯・防災

消防自動車マニュアル車 への対応について

山口 弘宣 議員

Q 現在、自動車免許証を取得するにあたっては、オートマチック車限定免許証を取得される方が多いと考えるが、大村市消防団が所有している消防自動車に関しては、全てマニュアル車であると認識している。このような中、消防自動車の運転に関する今後の対応について、どのような見解であるか尋ねる。

A 消防団車両を更新する際は、オートマチックの消防自動車での性能を考慮してマニュアル車を希望される場合もあるため、分団と十分に協議の上、決定したいと考えている。また、オートマチック限定免許証を所有されている団員も想定し、今後の方針を立てていきたい。



新年度の自主防災組織の 訓練へD-I-G導入を

三浦 正司 議員

Q 自主防災組織等の一般住民を中心とした地域単位の防災訓練を地域防災推進事業の一環として、平成27年度の事業に位置付けていると考えるが、シルバー人材センターを活用し、80を超える自主防災訓練に災害図上訓練(D-I-G)を導入してはどうか。

A 防災訓練におけるシルバー人材センターとの連携については、同センターとの協議や庁内での協議を行った。平成27年度は同センターへの委託料は計上しておらず、従来どおり市職員による訓練指導を行うこととしているが、訓練指導のレベルが高まるなど、メリットも大きいと考えているので、引き続き前向きに研究していく。

消防団活動の理解度や 訓練施設について

朝長 英美 議員

Q 消防団活動に対する市民の理解度はどれくらいか。また、7つの活動業務にある「地域住民等への協力支援や啓発」に関する項目について、市民への啓発活動

として広報紙を年2回発行する企画はできないか。また、訓練施設の整備計画の進捗状況と、総合運動公園運動広場のグラウンドゴルフ場を屋根付きとし、昼は高齢者のプレー場、夜は消防団の訓練場とすることは考えられないか。

A 消防団活動については、訓練実施場所周辺の町内会長に対するお知らせや消防車両等による広報を行うっており、消防団全体については、広報おむらに水防訓練等の活動を掲載している。今後も、ホームページ等で情報発信を行いたい。また、広報紙発行については、市民に対する消防団の周知もなかなか進んでいないということも考えられるため、研究していきたい。また、消防団訓練施設については、数力所の候補地から選考中であり、総合運動公園運動広場も候補地の一つとしたい。

